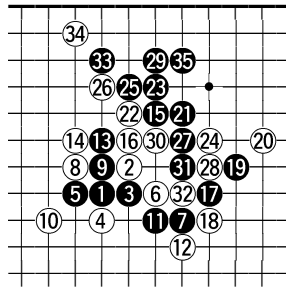


雲月・雨月桂馬挟みの研究(6)

九段 河村典彦

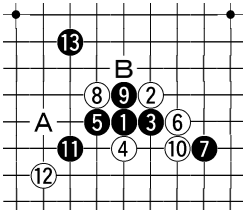
第44図



【第44図】前回の続きで、白18の変化。黒17が妙手なのは、次に黒19と引く余地があることで、この斜めの三の威力が強い。黒21もミセ手の妙手。白22には黒23とトビセを打つのが、気づきにくいが勝ちに導く一手となる。これを手拍子で24に打ってしまうと盤端にひっかかる。黒23と打ったのは黒25と上辺に展開できるからで、白26には黒27、29が決め手となる。

結局、白10の止めには黒11、13と打って勝てるようだ。

第45図

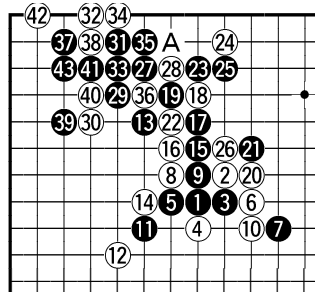


【第45図】次に、もう一つの強防、白10の防ぎを考えてみよう。実はこの防ぎが黒にとってやっかいで、黒11と絶好の三が引けるが、黒13の含み手に白AやBの防ぎが強防で、はっきりと結論が出ていない。(というかどうかどうしても黒勝ちが見つからなかった)

関くことがあるので、決して無駄ではない。

ここでは、その他の白14の時の黒勝ちを順次検討してみたい。こういう勝ち筋を調べておけば、似たような局面になった時に

第46図

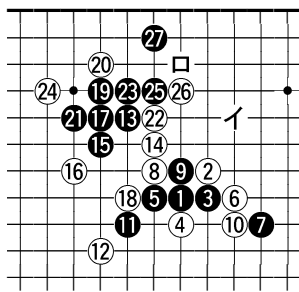


【第46図】白14には、当然黒15と止めておく。対して白は16と止めておくぐらいだが、黒17、19とミセ手を打つ。これを26と伸びてしまつては当然ながらダメだ。白20とノリ手で取られる手は癪だが、白もこれ以上攻められないので止めに來ざるを得ない。

白22の止めが強いが、黒はここから本格的に攻め始める。いろいろ細かい変化はあるものの、黒29と組めれば勝ちのようだ。白30なら黒31から順に引いていけばゴールが見えるだろう。白28を33の外止めなら、黒Aと組んでおく。

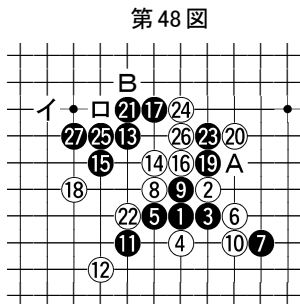
【第47図】白14の変化。この14なら、黒15と組むのが好形だろう。単純な三・四三を狙っているので、白16はここだろうが、黒17と剣先を有効利用できるのが黒15の効果だ。盤端までまだ距離があるので、無条件にここで固まることができれば、白は防げないだろう。白18は根元を止める発想なのだが、黒は21から新たな種を作っていく。白22には黒23と固まる手がまたミセ手になっている。こういう好循環ができるとそのまま押し切れる場合が多い。本

第47図



譜も黒27後イコの四追いとなる。

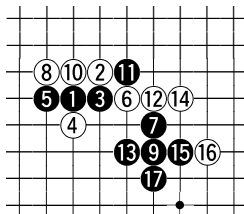
【第48図】白16はちよつとトリッキーな防ぎだ。三、四三には四を



駆使して止めようという狙いである。黒はその狙いをかわずのために、黒17と逆に引く。白18の止めに、黒19と伸びてから長連筋を気にせずに黒21と固まるのが狙いの一手。白の剣先も止めている。長連で使えなくなることもよ

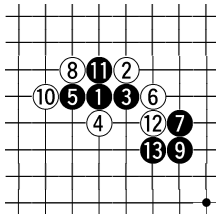
りも、広さの方が重要という発想だ。白22でまたもノリ手だが、黒23と止める手がまた含み手になっている。黒25とミセ、白はAの四ノビで四々禁にしても黒Bの四三が残っているので大丈夫。黒27後イロまで。

第51図



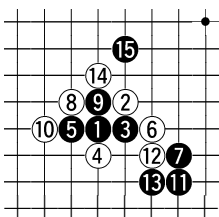
局面も多くあったので、黒9の別法を検討してみよう。【第51図】黒9と黒7に引き続きこちらで組み立てるのが、大角九段が世界戦で打った作戦だ。こちらの方がかえって変化が少なくわかりやすい。まずは白10、12の変化から。白10と思わず一本引きたくなるが、これはお手伝い。白12に黒13と組んで白には防ぎがない。黒17と組んで必勝形。

第52図

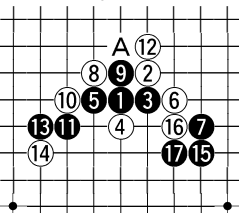


【第52図】白10の変化。一見難しそうに見えるが、黒11と入ってから黒13と構えれば、あら不思議、第49図に戻っている。ということは黒勝ちで、これで労せずとも一つ解決したことになる。このように、防ぎが違っても、勝ち方が共通となる場合が多く、決して研究が無駄にならないという証拠だ。

第49図

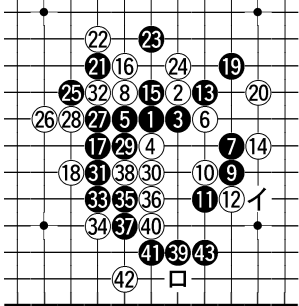


第50図



【第49図、第50図】白10の防ぎも強そうだが、黒11、13と固まると黒必勝になる。黒9と防いだ理由もここにある。ただし、白14と一本引かれ、以下少し厄介なので、第50図に示すように先に黒11と引き、黒13と一旦押さえておく。そこで白14と防いできたら黒15、

第53図



【第53図】白10の変化。黒11と打ち、白の防ぎにより展開する場所を決める。白12は一番迷いやすい場所なので、一旦黒13と白の根拠を押さえておく。以下白20までの展開に、黒21から追い詰めとなる。黒23は後の展開上必要となる一手で、黒25から29と打って下辺に展開するのが良い。手数はかかるが、黒43後イロまでとなる。

17と組むのが実戦的だろう。白12を反対なら、黒Aに押さえておいていずれにしろ先手が取れる。

ここまで黒9の手を調べてきたが、白に変化も多く勝ち切れない